

読んでほしいな。

ティーンズコーナー 新着図書6月分

新しく入った本の中から
ピックアップして紹介します



これが目じるし↑

【武器ではなく命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方】

宮田律／著 平凡社 (333/ミ)

2019年12月4日、今なお戦乱の続くアフガニスタンで凶弾に倒れた中村哲医師。彼は医師でありながら、「武器や戦車では解決しない。農業復活こそがアフガン復興の礎だ」と考え、アフガニスタンの干ばつと闘った。

35年にわたりパキスタンとアフガンで人道支援にあたった中村医師の生涯と生き方、考え方を伝える1冊。

【SDGs時代の国際協力 アジアで共に学校をつくる (岩波ジュニア新書)】

西村幹子ほか／著 岩波書店 (372/エ)

長年、バングラディッシュで学校づくりに取り組んできたNGOの活動を日本からの参加者と現地の生徒たちの声とともに紹介する。支援をする側とされる側に分けるのではなく、互いに当事者として「協働」するためのパートナーシップとはなにかを考える。

【「悩み部」の平和と、その限界。(「5分後に意外な結末」シリーズ)】

麻希一樹／著 usi／絵 学研プラス (913/マキ)

高校を舞台に、事件の解決に奮闘する「悩み部」の個性的なメンバーたち。束の間の平和が訪れたかに見えたが、事件が次々に舞い込んで来て……。大好評「5分後に意外な結末」の新シリーズ第5弾！

【怪物 (闇の西洋絵画史3) (アルケミスト双書)】

山田五郎／著 創元社 (723/ヤ)

教科書では扱いつらい西洋美術の「闇」の側面に焦点をあて、1冊1テーマで西洋絵画史を紐解いていくシリーズの第3巻。

この巻では、「怪物」を詳しく解説。怪物を意味するラテン語「monstrum(モンストルム)」の本来の意味は“予兆”だという。人はなかに怪物の姿を描いてきたのだろうか。

読みたかった本がある
…かもしれない
《ティーンズコーナー》
をのどきに来てね。